



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2026年04月27日 第1265「週刊五十嵐レポート」

「平時と非常時」

4月26日付朝日新聞、「イラン情勢影響 中小企業、悲鳴」という記事。

米国とイスラエルによるイラン攻撃をきっかけに資材不足が中小企業を直撃している。原材料がない、工事ができない、ものがつくれない。そんな悲鳴が噴出している。

都内の塗料商社には次々に出荷停止を知らせるファクスが届く。塗料を送っている現場からはマンションの大規模修繕工事がストップした、住宅が建てられない、といった声が寄せられる。

エアコンや風呂、キッチンなどの排水管工事を手掛ける会社は、今年1月に契約して施工中だった物件は、排水管が足りずストップしている。注文しても「在庫がない」という返事が返って来るだけ。「いつまで待ってくださいますかとお客に言えない。このままでは身動きできぬまま、少しずつ沈んでいくだけ」。

2008年リーマンショック、2020年新型コロナウイルス、そして2026年イラン情勢。非常時は突然やって来る。そして必ず収束する。その都度生き残り強くなる企業と消えていく企業が出てくる。平時の時に地道に粗利益を高め、最終利益を上げ、内部留保を厚めにした企業が非常時でも耐えうる企業になる。

松下幸之助氏の「商売心得帖」にはこう書いてある。「不景気だからこそおもしろい。忙しくて放っておいたアフターサービスをこの際徹底的にやろうとか、お店の整備を積極的に図ろうとか、甘い経営を排して方策を考える。他力に依存することなく、自分が蓄えた力によって一つひとつ実施していく。その歩みはゆっくりしたものでも他の店が停滞しているのですから、相当のスピードということ。不景気こそ発展の千載一遇の好機である」。

ある工務店の社長曰く、「自分でコントロール出来る事とコントロールできない事がある。排水管が調達できないことは自分ではコントロールできないこと。コントロールできることに注力する。従業員教育を充実させたり、既存顧客を訪問したりすることはできる」。

平時の蓄積があるからこそ、今できることをおちついてできる。

ちょっと
気になる出来事

4月21日付日経新聞、「ノジマ、日立の家電買収」という記事。

家電量販店大手のノジマは日立製作所の家電事業を買収する方針。これまでに複数社に打診し、ノジマのほかにも韓国サムスンや韓国LG電子、米投資会社などが関心を示した。ノジマはパソコンのVAIOを買収し、家電のブランド事業を強化している点が評価され、売却先として選ばれた。

国内家電市場24年は6兆8000億円、過去10年7兆円前後で伸び悩んでいる。家電はかつて日本の電機メーカーが強かったが、2010年以降の主役はアジア勢に取って代わられた。16年には経営不振に陥った東芝の白物家電事業を中国・美的集団、シャープを台湾の鴻海が買収。

ノジマは今回の買収で家電開発から量販店まで白物家電の垂直統合型のビジネスモデルを手に入れる。

2010年代初めにベトナム、フィリピンを視察した時、家電は日本メーカーが主役ではないことを認識した。その後中国勢が日本の家電事業を次々買収してきたことは予想できた。今回は中国や韓国ではなく、日本企業の販売店が買収したことに「安堵感」がある。ノジマに期待しましょう。



一口メモ
知識

友人と交際 4

立派な人物は沈着冷静で我を忘れて争うことなどしないものさ。人と強調するが、派閥活動などしやせんよ。

子曰、君子矜而不争 羣而不黨

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

